

③2 記念碑 金田土地区画整理の記念碑



金子新宿地区にあるこの記念碑は、震災復興の記念碑です。大正12（1923）年の関東大震災により水田は亀裂を生じ、用水路も壊滅するど、被害は甚大でした。そこで、金田村の水田一枚一枚の区画を整然と改め、水路を四方にめぐらして橋をかけ、交通運搬を便利にするなど、耕地整理が10年の歳月をかけておこなわれました。

このように金子地区に広がる美田は祖先の尊い血と汗の苦労が染み込んでいます。その恩恵に浴するわたしたちはこの偉業を記念碑によって偲ぶことができます。



酒匂川用水の碑



松田町との境にあるこの碑は、酒匂川用水の工事に使われたヒューム管の現物を用いて建てられたもので、水資源をめぐって人間と水との戦いを物語っています。

この工事が行われる前は米作りに必要な水は金田村、曾我村、田島村などの農民たちにより酒匂川や川音川に石を積み重ね流れをせき止め水を取り入れていました。しかし大雨の度ごとに破損し石が流されてしまうので、復旧するのに大変な苦勞をして来ました。この工事は昭和7年から始まり5年後の昭和12年に完成しました。

この工事のお陰で遠く山北の方から水を取り入れ、開成町の文命用水を通り、酒匂川の下をヒューム管で西から東に横断し、松田小学校の側を流れ、更に川音川の底をヒューム管で通り抜け、酒匂堰や金田堰に流れ、国府津の親木橋まで通じるようになりました。



県道改修之碑

上山田地区にあるこの記念碑は、道路の完成を祝って建てられた記念碑です。町道8号線の東側に建てられています。この町道はかつては県道松田羽根尾線とまっただはねおせんとして山田、赤田、上中村にとっては生命線ともいべき主幹道路でこれが完成を見るまでには実に32年を要したのです。



明治33年に改修方^{かいしゅうかた}を県に陳情^{ちんじょう}し、昭和7年に一応の完成を見て工事は打ち切られました。その後、戦後に数回改修が行われ、現在の姿に変わってきています。

この記念碑から、当時の人々の積年の念願^{しの}がかなえられ、その喜びを偲ぶ^{しの}ことが出来ます。